

1. 法人会務の運営

法人の運営にあたり、理事会・評議員会・監事会を開催。  
提案された議案については、原案どおりすべて承認。

1) 理事会

第1回 令和2年6月4日(木) 13時30分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール

- 出席 17名 監事出席 2名
- 第1号議案 副会長の選任について
- 第2号議案 令和元年度事業報告について
- 第3号議案 令和元年度決算報告について(監査報告)
- 第4号議案 令和2年度第1次補正予算について
- 第5号議案 評議員選任・解任委員の選任について
- 第6号議案 評議員候補の推薦について
- 第7号議案 評議員会の招集について

第2回 令和2年11月6日(金) 14時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール

- 出席 15名 欠席 2名 監事出席 1名
- 第1号議案 令和2年度第2次補正予算について
- 第2号議案 規程の変更について
- 第3号議案 評議員会の招集について

第3回 令和3年3月12日(金) 14時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール

- 出席 16名 欠席 1名 監事出席 2名
- 第1号議案 令和2年度第3次補正予算について
- 第2号議案 令和3年度事業計画について
- 第3号議案 令和3年度当初予算について
- 第4号議案 規程の変更について
- 第5号議案 役員等責任賠償保険契約について
- 第6号議案 評議員会の招集について

2) 評議員会

第1回 令和2年6月23日(火) ※評議員全員の同意があった日

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、評議員会を開催せず、評議員全員の書面による同意の意思表示を頂き、評議員会の決議があったとみなされました。

- 第1号議案 令和元年度事業報告について
- 第2号議案 令和元年度決算報告について(監査報告)
- 第3号議案 令和2年度第1次補正予算について
- 第4号議案 理事の選任について

第2回 令和2年11月28日(土) ※評議員全員の同意があった日

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、評議員会を開催せず、評議員全員の書面による同意の意思表示を頂き、評議員会の決議があったとみなされました。

- 第1号議案 令和2年度第2次補正予算について

第3回 令和3年3月26日(金) 10時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール

- 出席 27名 欠席 7名 監事出席 2名
- 第1号議案 令和2年度第3次補正予算について
- 第2号議案 令和3年度事業計画について
- 第3号議案 令和3年度当初予算について

3) 監査会

令和2年5月22日(金) 9時00分 中津市教育福祉センター 多目的ホール

結果：事業状況、収支決算状況とも特に指摘事項なし

2. 会費、寄付金及び共同募金

1) 会費(会員)

一般会費 4,500口 4,500,000円  
特別会費 42口 210,000円  
合計 4,542口 4,710,000円

地区	一般会費		特別会費	
旧中津	—	—	40口	200,000円
三光	1,503口	1,503,000円	0口	0円
本耶馬溪	960口	960,000円	2口	10,000円
耶馬溪	1,241口	1,241,000円	0口	0円
山国	796口	796,000円	0口	0円
計	4,500口	4,500,000円	42口	210,000円

## 2) 寄付金

	地区	香典返し		一般寄附	
		件数	金額	件数	金額
香典返し	旧中津	98件	3,022,000円	62件	3,194,557円
一般寄附	三光	15件	405,000円	1件	20,000円
合計	本耶馬溪	30件	965,000円	2件	85,695円
	耶馬溪	42件	2,110,000円	7件	305,986円
	山国	28件	800,000円	0件	0円
	計	213件	7,302,000円	72件	3,606,238円

## 3) 物品寄付

ギフトカード	1 件	15,900円
電動ベッド一式	3 台	220,000円
米	130 kg	12,000円
切手	1 件	2,500円
マスク	2 件	0円
オムツ、パッド	1 件	0円
車椅子	1 台	0円
日用品等	4 件	0円
物品寄付額 (相当額)		250,400円

## 4) 中津市共同募金委員会への協力

	募金種類	赤い羽根共同募金		歳末たすけあい募金	
		件数	金額	件数	金額
赤い羽根共同募金	戸別募金	19,715件	8,301,785円	19,784件	3,555,485円
	街頭募金			1件	20,833円
歳末たすけあい募金	法人募金	2件	34,294円	532件	1,960,936円
	職域募金	4件	157,655円	2件	6,993円
合計	イベント募金				
	その他募金	1件	16,810円	36件	336,652円
	預金利息	1件	5円		
	計	19,723件	8,510,549円	20,355件	5,880,899円

### その他の募金活動

・大分グルメ募金	売上額	147,730円
	うち、募金額	28,440円
・期間外募金	自動販売機手数料	40,424円
	銀行利息	13円
	合計	40,437円
期間外募金については令和3年度に計上		

### [戸別募金内訳]

地区	赤い羽根共同募金		歳末たすけあい募金	
	件数	金額	件数	金額
旧中津	15,175件	6,395,475円	15,242件	2,738,135円
三光	1,537件	645,540円	1,539件	277,020円
本耶馬溪	966件	405,440円	966件	173,760円
耶馬溪	1,251件	525,210円	1,251件	225,090円
山国	786件	330,120円	786件	141,480円
計	19,715件	8,301,785円	19,784件	3,555,485円

## 5) 中津市共同募金委員会への協力 (災害義援金)

令和2年7月大分県豪雨災害義援金	138,911円
令和元年台風19号災害義援金	4,315円
令和3年2月福島沖地震災害義援金	1,444円
合計	144,670円

## 3. 住民主体による小地域ネットワークの推進

### 1) 寄り合いの場支援

住民が主体的に、住民同士の交流・関係づくり・介護予防を目的に行われている場づくりを支援

サロンの種類	R2年度	内容
地域サロン	5カ所	地域の中の民家や空き家等を活用して主体的な拠点を整備し、開催回数も週1～12回で、日常生活に密着した寄り合いの場
広域型サロン	10カ所	小・中学校区の範囲で、いきいきサロンの広域版である「交流型」と生きがいややりがいをテーマとした「活動型」
いきいきサロン	81カ所	自治区や集落等の小地域で、高齢者等を対象にしながら、月11回程度住民同士の交流の場として実施
合計	96カ所	寄り合いの場の種類・説明

※R2年度 新規寄り合いの場：サロンつばめの家、サロンなでしこ

## 2) 地域福祉ネットワーク協議会構築支援

地域の社会資源や人材のネットワークを図り、住民一人ひとりが主体的に地域の社会福祉に参加・協力しながら、地域の身近な「支えあい・助け合い」活動を支援。

○地域福祉ネットワーク協議会の組織状況 (地区内の地域福祉推進活動)

No.	校区 地区	組織名称 (校区ネッ ト)	発足 年月日	定例会	事務局会 議等	令和2年度の主な動き	助成金
1	南部	南部地区ネットワーク 協議会ぽけっと	H18.10 ↓ H24.4	3カ月 に1回	毎月開催	・4サロン合同交流会の開催 ・第2層生活支援コーディネーターとの連携 ・情報紙の発行 ・ネットワーク総会、研修会	○
2	北部	(未定)	-	-	-	-	-
3	小楠	小楠校区地域福祉ネッ トワーク協議会「OGUSU 友愛 2017」	H29.12	3カ月 に1回	毎月1回	・部会の組織化と定例会の定着化 (定例会で部会開催) ・出前手話講座開催 ・広報紙の発行	○
4	豊田	「生き活き・豊田」	H22.12	随時	随時	・R2年度はコロナウイルスにより活動休止	-
5	沖代	沖代校区ネットワーク 協議会	H18.9	随時	第4水曜日	・情報紙の発行 ・定例会の開催 ・あいがも事務局会議 (公民館内)	○
6	鶴居	鶴居校区地域福祉ネッ トワーク協議会	H26.4	-	-	-	-
7	大幡	大幡福祉の会“輪”	H20.1	月1回	月1回	・事務局会議開催 (毎月) ・情報紙の発行 (年3回) ・定例会開催 (2カ月/回)	○
8	如水	(未定)	-	-	-	-	-
9	三保	(未定)	-	-	-	-	-
10	和田	(未定)	-	-	-	-	-
11	今津	福祉の郷「いまづ」	H21.1	-	-	-	-
12	三光	ふくしの里“ややま”	H31.3	-	-	・役員会の開催 ・情報紙の発行 (年2回) ・部会活動の推進	-
13	本耶馬溪	(ふれ愛ネットワーク 推進委員会)	-	-	-	・ネットワーク協議会につながる拡大会議を開催 (R2.9月)	-
14	耶馬溪	(耶馬溪町地域見守り ネットワーク協議会)	H23.5	随時	随時	・会長・事務局会議	○
15	山国	源流の郷やまくに福祉 の会	H22.10	随時	随時	・役員会の開催 ・見守りネットワーク体制づくり支援 ・定例会の開催	○

## 3) 各種団体等助成金

市内において社会福祉を目的として、各種団体やボランティアグループ等が実施する様々な社会福祉貢献活動や事業に対して助成

区 分	財源	件数	助成額(円)	助成内容
小地域福祉活動助成	市受託	31	1,488,000	見守り活動及び交流活動を行うために、自治区単位で組織されている団体への活動助成
小地域福祉活動助成	会費	30	646,286	〃
地域福祉推進活動助成	市受託	6	454,000	地域の福祉課題の解決を目指すべく組織された地域福祉ネットワーク協議会への活動助成
地域福祉推進活動助成	歳末	6	270,000	〃
ボランティア活動助成	共募	47	1,395,000	会員が自発的に明確な意思・目的をもって結成し、活動している団体への活動助成
ボランティア推進校助成	共募	13	390,000	小中高等学校が取り組む福祉活動・ボランティア活動に対する助成
寄り合いの場活動助成	共募	81	1,039,000	地域の寄り合いの場 (地域サロン等) への活動助成
寄り合いの場新規立ち上げ活動助成	歳末	4	120,000	地域の寄り合いの場 (地域サロン等) への立ち上げ活動助成
寄り合いの場活動助成	会費	59	1,899,000	〃 (三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国)
住民型有償サービス活動助成	共募	10	1,190,000	住民主体の在宅福祉サービス (家事援助・身体介護等) 団体への活動助成
一般公募助成	共募	4	534,000	高齢者・障がい者 (児) ・子ども・防災など事業への助成 (1団体上限34万円)
見守り配食活動助成	会費	1	30,728	一人暮らし高齢者等への手作り弁当配食 (山国1件)
公民館助成	寄付	14	210,000	校区 (地区) 公民館を対象に、地域福祉の拠点や活動の連携を図る目的として助成
民生委員児童委員活動助成	寄付	15	1,018,845	共同募金 (企業募金) 実績に基づき助成
自治委員活動助成	寄付	15	1,786,576	共同募金と歳末たすけあい募金 (戸別) 実績に基づき助成
合 計		336	12,471,771	

## 4. 相談機能の強化による在宅福祉サービスの充実

### 1) 障がい者福祉サービス事業

障がいをもつ方に対して、ホームヘルプサービス及び訪問入浴サービスを実施

#### ①居宅介護事業（家事援助）

実利用者数 7名 延利用回数 864回 延活動時間数 973時間

本耶馬溪	5名	本耶馬溪	355回	本耶馬溪	393時間
耶馬溪	2名	耶馬溪	509回	耶馬溪	580時間

(障害区分：身体3名、精神2名、視覚1名、知的1名)

#### ②居宅介護事業（通院等介助）

実利用者数 2名 延利用回数 11回 延活動時間数 15時間

本耶馬溪	2名	本耶馬溪	11回	本耶馬溪	15時間
耶馬溪	0名	耶馬溪	0回	耶馬溪	0時間

(障害区分：視覚2名)

#### ③同行援護事業

実利用者数 12名 延利用回数 216回 延活動時間数 241時間

本耶馬溪	9名	本耶馬溪	54回	本耶馬溪	75時間
耶馬溪	3名	耶馬溪	162回	耶馬溪	166時間

(障害区分：視覚12名)

#### ④障がい児・者訪問入浴サービス事業（中津市内で一事業所のみ）（市受託）

実利用者数 なし 延利用回数 なし

### 2) 移動支援事業

自宅に引きこもりがちな障がいをもつ方の外出を支援するサービス（市受託）

R2 R2 R2

実利用者数 4名 延利用回数 55回 延活動時間数 110時間（障害区分：身体2名、知的2名）

本耶馬溪	4名	本耶馬溪	55回	本耶馬溪	110時間
------	----	------	-----	------	-------

### 3) 障がい児(者)余暇活動支援事業(てくてく)

余暇を充実して過ごすための活動の場を提供することで、障がい児者の心身の健康増進と自立のための能力の獲得を目的とした事業（市受託）

#### ①-1実施状況

開催回数	実利用者数	専任職員
8回	28名	3名

#### ①-2通常開催詳細（延べ）

利用者数	きょうだい児	保護者	ボランティア
55名	8名	34名	2名

#### ②-1 Summer てくてく実施状況（夏休み中の臨時開催）

開催回数	実利用者数	専任職員
4回	10名	3名

#### ②-2 Summerてくてく参加状況（延べ）

利用者数	きょうだい児	保護者	ボランティア
21名	12名	18名	17名

### 4) 障がい者ミニデイ支援（鈴の音）

障がいのある方とボランティアがお互いに理解・尊重して、共に地域の住民として交流できる場として、社協として障がいのある方への支援に対するニーズ把握の場を目的として開催。

年度	開催日	開催回数	利用者数	ボランティア数	内容
R2	第3水曜	8回	実数 8名	実数 8名	体操、講話、音楽鑑賞、野外研修 等
			延べ数 34名	延べ数 54名	

### 5) 障がい者等生活環境整備事業

住環境により福祉サービスを利用できない等社会生活に支障が出ている障がいのある人やその世帯に対する片付け支援事業。（市受託）

支援件数	利用世帯人員	地区	支援内容
1件	単身世帯	大幡	ケア会議2回、掃除2回、その他訪問3回

## 6) 福祉用具貸出事業

在宅での要支援者や障がい者等に対して、福祉用具を貸与し、本人や介護者の負担を軽減するなど、在宅生活の支援を図る。

### 【電動ベッド】

- ・貸出総数 185台
- ・保有台数 189台
- ※内廃棄数 8台

貸出対応件数

旧中津	15件
三光	5件
本耶馬溪	7件
耶馬溪	5件
山国	9件
計	41件

### 【車椅子】

- ・貸出総数 120台
- ・保有台数 160台
- ※内廃棄数 5台

貸出対応件数

旧中津	64件
三光	3件
本耶馬溪	8件
耶馬溪	10件
山国	4件
計	89件

## 7) 介護保険事業

### ①介護老人福祉施設事業（中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘）

65歳以上で身体や精神上の障がいのため常時介護を必要とし、在宅での介護が困難な人が対象の事業。特に食事、排せつ、入浴など日常生活の介助や健康管理・リハビリ・療養上のケアを提供

（本入所）・・・定員 80名

サービス 実施状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	実人数		78	78	78	77	78	79	79	79	79	78	76	77
延べ人数		2,278	2,369	2,227	2,347	2,390	2,321	2,418	2,347	2,398	2,275	1,978	2,290	27,638名

### ②短期入所生活介護事業（中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘）

冠婚葬祭や旅行などで介護ができないときに利用したり、介護疲れを防ぐために短期間の施設利用。食事や入浴、排せつなど日常生活の世話やレクリエーション、リハビリなどを提供

（短期入所）・・・定員 20名

（R2年度）

サービス 実施状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	実人数		31	22	19	31	28	26	28	33	22	22	17	20
延べ人数		436	435	440	475	512	479	442	512	520	491	434	531	5,707名

### ③訪問介護事業

要支援者及び要介護者やサービス利用が必要な事業対象者に対して、ホームヘルプサービスを実施

実利用者数 142名

延利用回数 8,869回

延訪問時間 8,217時間

本耶馬溪	43名
耶馬溪	99名

本耶馬溪	3,177回
耶馬溪	5,692回

本耶馬溪	2,742時間
耶馬溪	5,475時間

（介護：27人、予防：16人）

（介護：52人、予防：47人）

### ④訪問型サービスA

比較的介護度が低い方（要支援1、2及び介護予防事業対象者）に対し、ホームヘルプサービスを実施

実利用者数 11名

延利用回数 359回

延訪問時間 269時間

本耶馬溪	6名
耶馬溪	5名

本耶馬溪	207回
耶馬溪	152回

本耶馬溪	155時間
耶馬溪	114時間

### ⑤通所介護事業

要支援者及び要介護者やサービス利用が必要な介護予防事業対象者に対して、デイサービスを実施

（通常型）開設日数 1,201日/年

実利用者数 360名

延利用人数 22,515名

三光	299日
本耶馬溪	297日
耶馬溪	303日
山国	302日

三光	59名
本耶馬溪	91名
耶馬溪	125名
山国	85名

三光	4,025名
本耶馬溪	5,976名
耶馬溪	6,579名
山国	5,935名

⑥通所型サービスA（生きがい元気アップクラブ）

サービス利用が必要な介護予防事業対象者に対して、デイサービスを実施

(緩和型) 開設日数	596日	456日	日/年	実利用者数	96名	83名	延利用人数	3,682名	2,878名
三光	248日	204日		三光	29名	25名	三光	1,281名	1,069名
耶馬溪	248日	252日		耶馬溪	42名	58名	耶馬溪	1,565名	1,809名
山国	100日			山国	25名		山国	836名	

R2～休止

⑦訪問入浴介護事業

要支援者に対して、訪問入浴サービスを実施（中津市内で一事業所のみ）

実利用者数 16名 延利用回数 411回

⑧居宅介護支援事業

要支援者及び要介護者に対して、介護計画書を作成。

ケアプラン作成件数 4,449件 件/年

本耶馬溪	1,862件
耶馬溪	1,201件
山国	1,386件

8) 高齢者生活福祉センター事業

高齢者に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援。

(市受託)

入居者数(内ショート利用者)	R2年度												
施設名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本耶馬溪生活支援ハウス	11	10	10	11(1)	10	9	10	8	9	11(1)	10	10	
延べ利用者数	330	310	300	313	310	270	297	240	266	295	280	310	3521名
耶馬溪生活支援ホーム	10	9	8	8	10	10	10	10	9	10	9	9	
延べ利用者数	287	279	224	248	308	300	310	300	279	290	252	279	3356名
山国生活支援ハウス	14(1)	14(1)	14(1)	14	14	14	14	18	20(2)	19	19	18	
延べ利用者数	378	417	404	434	434	420	434	522	578	589	526	553	5689名

9) 老人福祉施設養護老人ホーム運営事業

老人福祉施設事業（養護老人ホーム中津市豊寿園）

経済的理由、環境上の理由により自宅で生活が困難と判断された、65歳以上の自立した高齢者の方が対象の施設。

地域福祉を推進する社協として地域に開かれた施設経営を展開し、地域住民参加の活動を計画し地域交流を深め、

また入所者の生きがいにつながる取組みを積極的に推進。（市受託）

R2年度

年間在所状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	日数		30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日
入所者実数		55名	57名	58名	56名	56名	57名	53名	53名	52名	51名	52名	50名	
延べ人数		1,598名	1,721名	1,661名	1,624名	1,645名	1,514名	1,492名	1,442名	1,447名	1,421名	1,331名	1,475名	18,371名
年間異動状況	新規	他施設	1名											1名
		医療機関							1名					1名
		在宅	1名	1名			2名		1名		1名			6名
	退所	社会復帰								1名				1名
		医療機関			1名		1名		1名				1名	4名
		他施設			1名			4名	1名		1名		1名	8名
		死亡												1名
入退院(外泊)	入院(外泊出)	2名	2名	7名	2名	6名	7名	3名	7名	5名	1名	2名	3名	47名
	退院(外泊戻)	1名	3名	2名	6名	2名	2名	6名	5名	3名	3名	3名	4名	40名

## 10) 地域包括支援センター事業

平成30年度より、業務の主たる拠点を耶馬溪（市耶馬溪支所内）に置き、三光～山国エリアを担当。なお、新型コロナウイルス感染症対策として、8月から本耶馬溪にサテライト事務所を設置し、業務を行っている。（市受託）

### (1) 包括的支援事業

#### ① 総合相談支援業務

高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活ができるようさまざまな相談に応じる

相談件数 2,618件

#### ② 権利擁護業務

高齢者が尊厳を持って生活できるように、虐待や困難事例への対応及び成年後見制度の活用を行う

対応件数 126件

#### ③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域のケアマネへの指導助言や多職種連携によるケアマネジメント体制を作る

- ・ 包括的・継続的なケア体制の構築 46回
- ・ 地域における介護支援専門員のネットワークの活 10回
- ・ 日常的個別指導・相談 33回
- ・ 支援困難事例等への指導・助言 35回

合計 124回

### (2) 介護予防事業普及啓発事業

高齢者を介護している方や地域支援者等 一般住民に対して、介護・福祉サービスや介護予防について普及啓発を図る

○ 介護予防に関する講話、講演会、相談会

実施回数 12回

参加者数 161名

### (3) 各種調査業務

- ① 「食」の自立支援事業実態調査 調査件数 51件
- ② 住宅改修理由書作成 17件
- ③ 緊急通報用電話貸与事業実態調査及び相談 32件
- ④ 老人日常生活用具給付等事業実態調査及び相談 0件

### (4) 介護予防支援（計画作成）業務

要支援1.2、事業対象者の方に対する介護予防サービス計画作成に関する業務

相談件数 7,140件

作成件数 2,683件

### (5) 在宅医療・介護連携推進事業

#### ① 相談件数（分類）

全件数	内 訳
70件	医療 45件、介護 4件、住民 21件、行政 0件

#### ② 普及啓発

実施回数	人数
4回	72人

### (6) 「元気！いきいき☆週一体操教室」立ち上げ継続支援事業

立ち上げに関する相談支援	立ち上げに関わった組織数	パンフレット等の配布
6回	3ヶ所	0回（0人）

## 11) 合併周辺地域総合相談支援センター事業

三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国エリアにおいて、障がい者・児の総合相談支援業務を行う。（市受託）

相談件数

相談件数	内訳	障がい種別
163件	障がい者 158件、その他 5件	身体29、知的21、精神108、その他5

## 12) 認知症地域支援推進事業

地域包括支援センター内に認知症地域支援推進員を置き、認知症患者・家族に対する支援と認知症理解に向けた地域づくりを行なう。平成27年度から受託（市受託）

### (1) 人員配置

- ・ 認知症地域支援推進員 1名
- ・ 嘱託医 1名

### (2) 会議・研修会参加

認知症地域支援推進員等連絡会議（県主催） 3回

### (3) 認知症支援、普及啓発に関する各種取組

#### ①普及啓発活動

- ・ 広く住民に対する理解促進

項目	回数	参加者数	説明
認知症サポーター養成講座	7回	138名	
認知症講演会	1回	48名	WEB講演会（耶馬溪） 【講師】mottoひょうご 栗木剛氏
認知症講話	6回	93名	サロン、よりあ、ゆ（湯）ったりおでかけ支援事業
中津市ケーブルテレビ配信			認知症についての説明

#### ②SOS声かけ模擬訓練（第4回）

項目	開催日・場所	参加者数
SOS声かけ机上訓練&認知症サポーター養成講座	令和2年12月5日（土） 耶馬溪サニーホール	43名

#### ③オレンジカフェ

- ・ 認知症の方、家族、地域住民、専門職等が集い、共に楽しんだり、理解し合い、つながり再構築の場として開催。

地区	三光	本耶馬溪	耶馬溪	山国	合計
開催回数	2回	2回	1回	2回	7回
参加者数（延べ）	37人	20人	10人	33人	100人

#### （新規）ストリートオレンジカフェみなど

認知症の方やその家族、認知症に関心のある方、また移動手段、外に出る機会が少ない方々の地域へ向かい、認知症についての相談や気分転換を図れる機会を作る。場所を定めず、開催することが可能となる。なお、屋外で開催するため、密を防止、感染リスクを低減できる。

開催場所	耶馬溪柿坂	山国草本	山国庄屋村	本耶馬溪上津	耶馬溪平田	三光森山	合計 6ヶ所
参加者数（延べ）	15人	20人	15人	17人	39人	25人	131人

#### ④認知症家族介護者の集い

三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国地区内の認知症患者を介護している家族に対し、同じ立場の人同士での交流や意見交換の場をつくり、心のケアや介護負担の身体的精神的軽減を図る。年2回開催。

開催回数	4回
参加人数	32名

#### ⑤認知症の人を地域で支える学習会

認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう、医療、介護との連携を図る機会を作り、認知症の理解を深め地域で認知症の人を支える仕組みづくりを図る。

参加対象者：三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国地区内の医療機関、介護保険事業所、民生委員、警察、住民型有償サービス、市役所職員、地域包括支援センター職員等

開催回数	2回	「災害時の認知症の方への支援」～安心して できる避難所って？～
参加人数	55人	

#### ⑥個別の相談対応件数

対応件数 4件



### 13) 生活福祉資金貸付事業

低所得者や障がい者世帯に対し、経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活が営めるよう資金面の支援と、相談等を行う事業。申請のほとんどが緊急小口資金という現状。(県社協受託)

資金種類		相談延件数	申請件数	決定	決定金額
総合支援資金	生活支援費	3	3	0	0円
	住居入居費	0	0	0	0円
	一時生活再建費	0	0	0	0円
	特例	931	490	490	195,575,000円
福祉資金	福祉費	6	4	4	2,577,000円
	緊急小口資金	61	52	51	4,404,000円
	特例緊急小口資金	1257	847	847	154,040,000円
教育支援資金	教育支援費	7	2	2	990,000円
	就学支度費	6	1	1	400,000円
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	1	0	0	0円
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	0	0	0円
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0円
合計		2,272	1,399	1,395	357,986,000円

※要保護世帯向け不動産担保型生活資金については、県社協が直接担当します。

※総合支援資金特例貸付、緊急小口資金特例貸付の内、労銀、郵便局で38件の申請があり7,000,000円の決定金額あり。

### 14) 総合相談支援事業

#### (1) 心のケア事業 (ほっとテラス)

医師・心理カウンセラーによる、住民の抱える不安や福祉ニーズへの対応、また、家族関係・人間関係など各種相談に応じる専門相談事業。

R2

担当	相談形式	実績	
		相談開設回数	相談者数
橋本 眞子医師 (精神科医)	奇数月第2水曜 午後2:00~4:00 原則2名 (要予約)	11回	13名

#### (2) 生活困窮者自立相談支援事業

「生活困窮」の要因をさまざまな視点からとらえ、生活困難な状況について継続的な相談支援をすると同時に、社会的孤立を防ぐ地域づくりを行なう事業。相談種別を限定しない総合相談窓口機能を持つ。

令和2年度は、コロナ特例貸付により、家計や収入に関する相談が増。(市受託)

暮らしの総合相談支援実績 1,589件

#### 相談種別

病気、健康、障がい	住まい	収入・生活費	家賃・ローンの支払	税金や公共料金等の支払	債務	仕事探し、就職	仕事上の不安やトラブル	地域との関係	家族・人間関係
50件	39件	1,386件	42件	10件	14件	36件	5件	1件	16件

子育て	介護	ひきこもり・不登校	DV・虐待	食べる物が無い	生活支援	権利擁護	その他	合計
11件	15件	25件	3件	29件	29件	67件	490件	2,268件

※その他については、他機関との連携や不安の訴え等

#### (3) 家計改善支援事業

家計のバランスに不具合がおきている方に対して、収支プラン・貸付あっせん表等、短期から中長期の計画表を相談者と作成し、生活の立て直しと自立に向けた家計作りを行う。(市受託)

相談支援者数	186名
プラン対象者数	4名

#### (4) 就労準備支援事業

就労への困難を抱えている方に対して、就労体験や就労訓練を行い、就労課題の解決を図る。

また、中小企業家同友会や一般企業、ハローワーク、ジョブカフェ等との連携を図り、就労への一歩を踏み出すための取組を行う。(市受託)

対象者実人数	3名
プラン作成(再プラン含む)	3回
認定就労準備訓練事業対象	0名

大分県中小企業同友会 中津支部との連携	1回	大分県中小企業同友会中津支部と協働で働きづらさを抱えた人をテーマにした研修会を開催
はろかふえの開催	1回	コロナ禍により、従来の仕事相談ではなく、ハローワーク、ジョブカフェ、大分県中小企業家同友会中津支部、行政、社協などの関係機関の情報交換として実施

(4) 社会資源等研究開発事業

地域や関係機関などに存在する社会資源を調査し、その役割や連携のイメージを研究・作成する。また、収集・分析したデータを共有し、関係機関等の連携の在り方や必要な社会資源について協議する場を開催する。(市受託)

調査・研究内容	孤立しがちな人が参加できる居場所について調査 ・退職後の男性 4ヶ所 ・障がいのある方 5ヶ所 ・認知症 16ヶ所 ・ひきこもり 1ヶ所
---------	--

(5) ひきこもり支援事業(令和2年度新規事業)

ひきこもりの人及びその家族に対する支援事業。まずは家族支援を中心に開始。(市受託)

①相談支援

相談件数 25件 累計件数 30件

対象者内訳	男性	女性	29歳以下	30代	40代	50代	60代	不明
	17名	8名	7名	6名	6名	2名	3名	1名

②家族支援

家族交流会開催	開催回数	参加者数	(内対象者数)
	2回	14名	(6名)
		12名	(5名)

③広報啓発

事業紹介のチラシ作成・配布、社協だより掲載、民生委員会議にて説明

(6) 一時生活支援事業

ホームレスの人への緊急一時的な宿泊費と衣食の支援(現物給付)

実施回数	84回
実人数	14名

(7) その他の支援事業

①備品貸出し

日常生活に必要な備品(カセットコンロ、炊飯器、電気ケトル、自転車等)の一時貸出し

延べ回数	20回
実人数	17名

②食糧支援

食料がない方への緊急的な食糧支援(米、インスタント食品等)

延べ回数	160回
実人数	93名

③フードバンクnicoの取り組み(令和2年度より開始)

・フードドライブ・・・毎月25日に食品を受付  
1月～3月は市役所でも窓口開設

実施回数	寄付者数(延べ)	品数	重さ
11回	237名	2,127品	1,803kg

・フードパントリー・・・困窮世帯への食糧配布  
12月、3月に実施

実施回数	配布世帯数
2回	119世帯

・nicoキッチン・・・食事の提供(カレーライス)  
12月に実施

実施回数	提供数
1回	130食

(8) その他連携会議

事業項目	回数	内容
支援調整会議	9回	毎月1回、行政(福祉政策課・生活保護係)と社協を中心に相談者の状況について情報共有。 (5月・6月・7月はコロナのため中止)
福助ネット会議	9回	毎月1回開催。社協と『おおいた“くらしサポート事業”』に係るCSW及びスクールソーシャルワーカー等が連携し、相談者に対する効果的な支援を行うための会議。(4月・5月・11月はコロナのため中止)
ハローワークとの連携会議	0回	生活困窮者の就労問題についてHWと行政、社協で意見交換を行い、就労先紹介、情報共有等を行う。 令和2年度はコロナにより、書面会議として実施。

## 15) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートセンター中津）

認知症等高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方を対象に、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を適切に行えるよう支援を行う。（県社協受）

- ・年間の支援回数 1,734件
- ・新規相談受付件数 62件
- ・新規契約 52件 ・解約者 30件
- ・契約者数（3/31現在） 120名

内訳

居住エリア別	中津	三光	本耶馬溪	耶馬溪	山国	その他※1	合計
	90名	6名	6名	5名	8名	5名	
居住状況別	在宅		施設		病院		120名
	69名		38名		13名		
世帯経済状況別	生活保護世帯			生活保護以外			120名
	41名			79名			
年齢別	65歳以上		40～64歳		39歳未満		120名
	84名		27名		9名		
障がい種別	認知症等高齢者	知的障がい	精神障がい	その他※2			120名
	63名	24名	18名	15名			

※1…契約している方が日田・宇佐・豊前の施設等に一時的に入所・入院

※2…障がい疑われる人

## 16) 成年後見事業

### (1) 市民後見推進事業

今後の第三者後見人としての「市民後見人」の養成及び市民への成年後見制度周知等の取り組みについて推進（市受託）

#### ①会議の開催

事業項目	回数	内容
市民後見推進協議会会議	3回	学識経験者・弁護士・司法書士・社会福祉士・行政等と家裁主任書記官（オブザーバー）で構成する事業推進の協議会（6/3、8/20、3/9）

#### ②市民後見推進研修会の開催

開催回数	参加者数	内容
0回	0名	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

#### ③市民後見人養成講座の開催（隔年開催）

第5期生となる市民後見人養成講座の開催

実施期間	開催回数	内容	受講者数	修了者数
令和2年9月～12月	12回	市民後見人に必要な知識と実務を学ぶため、さまざまな専門職による講義と事務を学習、対人援助を学ぶための施設実習	12名	11名

※未修了の1名は令和3年度補講により修了予定

#### ④市民後見人候補者フォローアップ研修の開催

今までの養成講座を修了し、市民後見人候補者として登録した人（28名）を対象に研修を開催。

登録更新には各種別1回以上の受講を義務付け。※本年度は養成講座開催年のため、養成講座の一部科目をフォローアップとして認め実

研修種別	回数	市民後見人候補者参加者数	内容
講義	1回	12人	生活困窮者自立支援について
実務	1回	14人	事例検討

#### ⑤市民後見人の会（仮称）立ち上げ支援

事業項目	回数	内容
市民後見人の会 組織化支援	11回	市民後見人候補者同士が連携し、情報交換、活動することができるよう、市民後見人候補者の組織化を支援した。 準備会議4回（7/20、8/28、9/18、10/9） プレ発会式（11/20）、発会式（12/13）開催支援 役員会3回（12/13、2/12、3/8）定例会2回（12/13、2/21）

(2) 法人後見事業

法人として、後見人となり、被後見人の身上保護・財産管理を行う。

受任時の手続きは職員が中心に行い、日常的な後見事務は後見支援員を中心に実施。(市受託)

事業項目	数	内容
新規受任者数	9件	市長申立による受任3件。親族申立てによる受任1件。
後見業務	28件	累計受任数34件の事務。これまで5名の被後見人が亡くなっている。1名転居のため辞任
申立て支援	3件	親族による申立てで、書類作成、家裁との調整等申立て事務をサポート。
法人後見支援員登録者数	16名	平成30年度市民後見人候補登録者27名中。
後見業務に携わる支援員数	14名	法人後見支援員13名のうち、実際の後見事務担当者として任命した支援員数。
受任調整委員会の実施	8回	専門職等有識者による受任調整会議を設置・開催し、法人後見事業で受任する事案について協議。30年度協議件数：7件

17) 介護保険要介護認定調査事業

要介護認定申請に基づき、認定調査員が自宅や施設へ訪問し、対象の方の心身の状況など調査(市受託)

調査名	件数
更新	1,627件
新規	203件
変更	458件
合計	2,288件

18) 放課後児童クラブ事業

就労等により昼間保護者のいない小学校に就学する児童に対して、授業の終了後における適切な保護及び健全な育成を図る。

(市受託事業)

年間実施日数 1,421日開設

登録児童人数 97名

延利用児童人数 14,083名

R 2	年間実施日数		登録児童人数		延利用児童人数	
	地区	日数	地区	人数	地区	人数
	真坂	284日	真坂	22名	真坂	3,741名
	山口	285日	山口	24名	山口	3,854名
	秣	285日	秣	17名	秣	2,245名
	樋田	284日	樋田	18名	樋田	1,872名
	城井	283日	城井	16名	城井	2,371名

R 2. 4月5月は新型コロナウイルス感染症防止対策のため中津市内の小中学校が臨時休校になり、クラブは開所したが利用の自粛をお願いした。

5. 多様な人材による地域活動の推進

1) みんなのふくしまつり開催事業

令和2年度のみみんなのふくしまつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、代替事業を開催。

1)-2 普及啓発(みんなのふくしまつり事業代替事業)

(1) ふくし川柳

小学生から高齢者まで様々な世代より川柳を募集し、そのうちの31首で日めくりカレンダーを作成し、福祉啓発として配布  
応募総数 788通

(2) 「コロナと共に」講演会の開催

開催回数	参加者数	対象	内容
1回	31名	地域住民	「～福祉啓発 みんなにやさしいまち人～」をテーマに、2部構成で講演会を開催。 1部；コロナ禍における感染症予防講話 講師：中津市民病院 磯崎慎吾氏 2部；こんなときだからこそつながり講話 講師；mottoひょうご 栗木剛氏

## 2) 住民参加型有償サービス事業（社協型）

自助・互助の精神を基調とした地域の“ボランティア的な”意識を持たれた人々と、低額有料（非営利）のサービスを必要として在宅で自立した生活を営む人々などが、地域に暮らす住民の構築をひとりひとりがお互いに助け合う社会を目指し、地域福祉の向上に寄与することを目的として実施。

社協運営登録者数

協力会員	6名	利用会員	6名	延利用回数	256回	延利用時間	128時間
R2	三光 1名	三光	2名	三光	38回	三光	19時間
	本耶馬溪 3名	本耶馬溪	3名	本耶馬溪	126回	本耶馬溪	63時間
	耶馬溪 2名	耶馬溪	1名	耶馬溪	92回	耶馬溪	46時間

## 3) 生活支援体制整備事業

地域包括ケアシステムの構築に向け高齢者の生きがいがづくり・介護予防の視点を持ち、高齢者ニーズを把握し、生活支援サービスをはじめとする資源開発や地域づくりを行う事業。（市受託）

### (1) 生活支援コーディネーター設置

コーディネーター	人数	
第1層生活支援コーディネーター	1名	
第2層生活支援コーディネーター	5名	南部・今津・三光・耶馬溪（新規）・山国

### (2) 生活支援コーディネート業務

- 地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起

内容	第1層	第2層
いきいきサロン、地域サロン等へ参加し、高齢者の実態把握	46回	105回
住民型有償サービス定例会等への参加により高齢者の状況や課題を把握	47回	51回
元気！いきいき☆週一体操への参加による実態把握	76回	

- 地域への働きかけ

有償サービスネットワーク協議会への参加	4回
地域福祉ネットワーク協議会会議の参加	34回
民生委員会等への参加	19回

- 資源開発

住民型有償サービス立ち上げ支援	0回
担い手の育成（各種講座開催・協力）	9回

- ニーズに対するマッチング

生活支援サービスコーディネート	110回
-----------------	------

- その他

コーディネーター学習会の開催	12回
第2層生活支援コーディネーター活動情報誌の発行	4回

### (3) 他機関との連携

地域ケア会議への参加	14回
------------	-----

### (4) 協議体

第1層協議体	「生活支援・介護予防を考える会」～移動・外出支援について～	25名参加
	「生活支援・介護予防を考える会」～高齢者の就労について～	31名参加
第2層協議体	三光地区小地域ネットワーク協議会にて開催	15回

### (5) 多機能型地域生活拠点づくり「よりあ」

地区	場所	開催回数	参加者数（延べ）	内容
沖代	すずめの家	15回	92名	困りごと相談、情報提供の“場”づくり
今津	今津拠点	3回	11名	大勢の場所に行きづらいと感じている人の居場所づくり
耶馬溪	まーちゃん家	10回	75名	耶馬溪地区のボランティア等お世話役の方が元気になる“場”づくり
山国	山国社会福祉センター	9回	134名	「共食」をテーマに参加者と一緒に調理、会食を実施。

(6) 会議等への参加・協力	
包括 社会福祉士部会	1回
地域ケア推進会議	1回
中津市在宅医療介護連携推進協議会（傍聴）	2回
オレンジカフェ	6回
ケース会議	4回
SOS声かけ模擬訓練会議	2回

#### 4) 中津市福祉の里づくりサポーター事業

65歳以上の中津市の介護保険第1号被保険者が、サポーター活動を行うことによって、本人の健康増進・介護予防・社会参加・地域貢献を通じた生きがいを目的として実施。（市受託）

サポーター登録者数	582名	
受入登録施設・事業所数	121カ所	（高齢者施設、障がい者施設、児童施設、給食ボランティア、地域サロン等）
評価ポイント内スタンプ数	11,903個	
中津市福祉の里づくりサポーター事業情報誌「ふくサポ」発行 年1回 840部発行		

#### 5) ファミリー・サポート・センター事業

子育て中の家庭を応援するために、子どもの預かり等の援助を受けたい方（おねがい会員）と預かり等の援助を行う方（まかせて会員）との相互援助活動に関する相談援助・連絡調整を行う。（市受託）

おねがい会員登録者数	104名	活動件数	108件
まかせて会員登録者数	83名	活動延時間数	157.5時間
両方会員	1名	お見合い件数	15件
まかせて会員調査4/3	89名	相談件数	90件
おねがい会員調査9/1	117名	会報発行12/17	178部

### 6. 福祉意識の高揚・啓発及び育成

#### 1) 「わいわい福祉ひろば」事業

社協内にハートプロダクションを設け、市内近郊の視覚、聴覚、肢体の障がい者及び手話や点訳ボランティア、高齢者等をタレント登録し、市内の小学校等に派遣し、生活体験の講話や疑似体験学習を通し、障がい者の理解・高齢者理解などの福祉意識の啓発を図る事業。

<b>【年度実績】</b>		<b>コース内訳</b>		
実施小学校数（校）	15校	聴覚コース	11回	
年間開催回数（回）	42回	視覚コース	10回	
受講者数 児童生徒（人）	1,699人	肢体コース	10回	
受講者数 保護者（人）	36人	エルダーコース	7回	※高齢者に関すること
		オレンジコース	4回	※認知症理解に関すること
		合計	42回	

#### 2) 地域福祉・ボランティアに関する研修・講座の開催

No.	講座・研修名	回数	参加者	開催時期	対象	概要
1	災害ボランティア講座『ボラバス中津』日田天瀬実地研修	9回	56名	7月	地域住民	「令和2年7月豪雨」で被害を受けた日田市天ヶ瀬地区へ被災地支援ボランティア活動として「ボランティアバスなかつ」を運行。災害ボランティアの実地研修とする。
2	住民型有償サービスマネージャー研修	1回	18名	10月	住民型有償サービスマネージャー	住民型有償サービス団体でマネージャーとして活動していく上で必要な知識や情報共有を行う。
3	ボランティア養成講座『男塾～珈琲講座～』	1回	19名	1月	概ね50歳以上男性	「プロから学ぶ」「人とひとのつながり」をテーマに、養成講座として2回目の珈琲講座を開催。講師；喫茶カフェ「クラフト」 マスター奥村哲生氏
4	ボランティア入門講座『男塾～木工講座～』	1回	13名	2月	概ね50歳以上男性	「人生豊かな男たちが見せる木工」をテーマに、入門編として木工講座を開催。講師；株式会社九州ダイト
5	地域福祉講座『寄り合いの場交流研修会』	1回	29名	3月	寄り合いの場	市内でサロン等をされている方を対象とした交流研修会。今年度は「コロナ禍でも人とのつながりを切らさない」をテーマに開催。講師；mottoひょうご 栗木剛氏

### 3) 社協だよりの発行

名称	年間発行回数	1回の平均部数	主な配布先	備考
社協だより なかつ	3回	34,850部	市内全戸	6/15、10/1、2/15発行
社協だより なかつ(点字版)	3回	25部	市内視覚障がいの方	同上

### 4) エリアの取り組み

#### ①エリア広報紙(地域福祉情報紙)の発行

地区	名称	年回数	1回の平均部数	主な配布先
三光	とんぼのめ	5回	2,000部	全戸、公共施設
本耶馬溪	にじのはし	4回	1,200部	全戸、公共施設
耶馬溪	めいふる	4回	1,600部	全戸、公共施設
山国	かかし	12回	940部	全戸、公共施設

#### ②各エリアの地域福祉の取り組み

地区	内容
三光	広報用クリアファイル作成、全戸配布
本耶馬溪	いきいきサロン活性化を目的とした買い物バスを運行(3回)
耶馬溪	耶馬溪地域福祉ネットワーク会議を開催
山国	福祉ボランティア学習会を毎月開催(サロン支援人材の育成)

#### ③事業所広報紙・新聞

No	広報紙・新聞名	年間発行回数	1回の平均部数	主な配布先
1	やすらぎだより	12回	125部	施設入所者の家族と関係者
2	ウテリーだより	4回	80部	利用者の家族と公共の施設(山国地区)
3	なのはな便り	3回	85部	利用者の家族と公共の施設(耶馬溪地区)
4	ひなぎく	6回	85部	利用者の家族と公共の施設(本耶馬溪地区)
5	さんこうデイだより	12回	50部	利用者の家族と公共の施設(三光地区)

### 5) ホームページによる広報

地域福祉に関する情報、地域資源の紹介、社会福祉協議会の紹介や求人情報などをインターネットを通じて発信。

ホームページアドレス : <http://www.nakatsu-s.or.jp/>

## 7. 法人組織体制の強化

### 1) 職員配置状況(所属別)

#### ①所属別 令和3年3月31日現在 単位:名

名称	正規	嘱託	非常勤	再雇用	計
総務課	10	5	5	0	20
地域福祉課	26	6	3	2	37
福祉サービス課	4	6	45	2	57
在宅福祉課	36	20	72	5	133
豊寿園	10	4	24	1	39
やすらぎ荘	39	7	18	5	69
計	125	48	167	15	355

#### ②拠点別 単位:名

名称	正規	嘱託	非常勤	再雇用	計
中津市教育福祉センター	18	8	2	0	28
養護老人ホーム豊寿園	10	4	24	1	39
三光福祉保健センター	11	7	24	1	43
三光生きがい支援センター	0	1	4	0	5
放課後児童クラブ(5か所)	0	0	18	0	18
本耶馬溪総合福祉センター	14	7	36	1	58
市本耶馬溪支所	4	0	0	2	6
特別養護老人ホームやすらぎ荘	39	7	18	5	69
市耶馬溪支所	7	0	1	1	9
耶馬溪デイサービスセンター他	12	6	14	1	33
耶馬溪生活支援ホーム	0	1	6	0	7
山国社会福祉センター	5	1	0	2	8
山国高齢者生活福祉センター	5	6	20	1	32
計	125	48	167	15	355

※兼任している職員は、主としている事業所に計上

## 2) 法人内部における会議・委員会

No	会議名	回数	所管
1	課長会議	25	総務課
2	エリア会議	40	総務課
3	係長会議	7	総務課
4	やすらぎ運営会議	12	やすらぎ荘
5	高齢者虐待防止委員会	3	やすらぎ荘
6	認知症ケア委員会	5	やすらぎ荘
7	身体拘束未然防止委員会	6	やすらぎ荘
8	感染症防止委員会	4	やすらぎ荘
9	事故防止委員会	11	やすらぎ荘
10	褥瘡防止委員会	5	やすらぎ荘
11	情報管理委員会	4	やすらぎ荘
12	イベント・行事实行委員会	6	やすらぎ荘
13	接遇委員会	6	やすらぎ荘
14	喀痰吸引委員会	12	やすらぎ荘
15	やすらぎ教育プロジェクト会議	18	やすらぎ荘
16	業務改善委員会	9	やすらぎ荘
17	ホームページプロジェクト	1	やすらぎ荘
18	主任・副主任研究会	5	やすらぎ荘
19	各介護グループ、医務室会議	16	やすらぎ荘
20	生きがい通所介護部会	1	在宅福祉課

No	会議名	回数	所管
21	居宅介護支援部会	3	在宅福祉課
22	通所介護部会	6	在宅福祉課
23	通所相談員部会	2	在宅福祉課
24	通所看護職部会	6	在宅福祉課
25	通所介護職部会	4	在宅福祉課
26	通所機能訓練部会	6	在宅福祉課
27	通所調理職部会	4	在宅福祉課
28	訪問介護部会	3	在宅福祉課
29	在宅福祉課主任・副主任会議	3	在宅福祉課
30	在宅福祉課プロジェクト会議	4	在宅福祉課
31	居住部会	なし	福祉サービス課
32	事故防止委員会	12	豊寿園
33	感染症対策委員会	18	豊寿園
34	支援員会議	21	豊寿園
35	献立委員会	12	豊寿園
36	ケース会議	43	豊寿園
37	調理業務委託者選定委員会	3	豊寿園
38	身体拘束適正化委員会	4	豊寿園
39	実習担当委員会	なし	実習担当者
40	実習指導部会	なし	実習指導者

## 8. 各種地域福祉事業

### 1) 三光児童館事業

18歳未満のすべての子どもを対象とし、遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもの健全育成に資するとともに児童館の適正な運営を図った。

① 開館日数	222日	利用者内訳	
児童館利用者数	7,612名	就学前児童	336名
(4月15日～5月中 臨時休館)		小学生	6,802名
		中高生	95名
		保護者・ボランティア	379名

- ② 三光児童館運営協議会の開催  
日にち：令和3年3月8日（月）委員出席（8名）

- ③ 子育て支援拠点事業

名称	開催日数	参加者数	場所
子育てひろば	36日	558名	三光児童館内

- ④ 放課後児童対策子どもの居場所確保事業（新規）

- ⑤ 広報

名称	発行月	月部数	備考
児童館だより	10回（4.5月休刊）	570部	三光地区の小中学校と児童関係の施設、ホームページ
三光子育てひろばだより	10回（4.5月休刊）	50部	子育てひろば会員、市役所窓口、ホームページ

\*フェイスブックでの動画配信6回（3月新型コロナ予防対策で休館のため）

### 2) 安心生活支援事業（買い物支援事業：山国）

一人暮らし高齢者及び高齢者世帯等のうち、買い物が不便な方が登録。利用者の依頼に対して買い物代行し、自宅に届ける事業。

利用登録会員	29名
実利用者数	15名
買い物配達回数	454件
買い物支援を行った販売金額	688,391円
*1回当たりの平均購入額	2,514円



### 3) 葬祭壇貸出事業

#### 【貸出件数】

耶馬溪	1件
山国	3件
合計	4件

## 9. ボランティア・市民活動の相談、啓発、育成

### 1) ボランティア・市民活動センター事業

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動の発掘と支援のための相談、連絡、調整、育成、啓蒙活動等を実施。

①ボランティア希望・募集・相談 179件

②ボランティア登録状況

種別	団体数	団体会員数
団体Vo	150団体	3,361名
個人Vo		864名
計	150団体	4,225名

③ボランティア活動保険

ボランティア活動を行う個人・グループが安心して活動が行えるようボランティア活動保険の加入促進。

加入者数 2,783名

④ボランティア体験月間の取り組み

	夏のボランティア体験	春のボランティア体験	合計	
実施期間	令和2年7月～8月	令和3年3月～4月		
受入施設数	34カ所	12カ所		
参加者内訳	一般	0名	0名	
	大学・専門学校生	22名	0名	22名
	高校生	202名	83名	285名
	小・中学生	16名	0名	16名
	参加者合計	240名	83名	323名

⑤ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

中津市ボランティア・市民活動センターが行う、ボランティア活動・市民活動の推進に関わる様々な事業の運営について、多様な立場の考え方や意見を反映させることにより、さらなる事業の発展及び市民に開かれたセンターを目指す目的として、中津市ボランティア・市民活動センター運営委員会の設置及び開催。

運営委員	9名	学識経験者、ボランティア活動者、当事者団体、地域活動者等で構成
開催回数	2回	7月：前年度事業報告、事業計画、意見交換 1月：事業進捗状況、意見交換

⑥ボランティア情報紙の発行

名称	年回数	1回の平均部数	主な配布先
ボランティア・市民活動情報紙ぺんぎん	6回	5,500部	公共施設、自治委員、民生委員、ボランティアグループなど

## 10. その他社協事業

### 1) 福祉バス運行事業

地域福祉活動の研修、交流を図るための福祉バス「さつき号」の運行事業。

運行回数 延利用者数

32回 370名 コロナのため利用者が激減

### 2) 災害見舞金支給事業

市内に在住する世帯で、災害（火災、風水害等）により家屋が損害を受けた世帯に対して、見舞金を支給。

火災 2件

### 3) 施設等管理運営事業

No	施設名	開館日数	延利用者数
1	中津市教育福祉センター	230日	16,765名
2	三光福祉保健センター	82日	395名
3	耶馬溪介護研修センター	220日	155名
4	すぱーく耶馬溪多目的広場	249日	849名
5	山国社会福祉センター	278日	2,229名

## 11、各種共催・後援状況、視察受入、協力

### 1) 行事の共催及び後援状況

No.	形態	日にち	行事名	主催者名
1	後援	R2. 9. 26	2020年度 県北地区 福祉のしごと就職フェア	大分県福祉人材センター（社会福祉法人大分県社会福祉協議会）

### 2) 視察の受入れ、協力状況

※R2は新型コロナウイルス感染症防止の観点から受け入れなし